

中部経済同友会 第19回 1000人の声

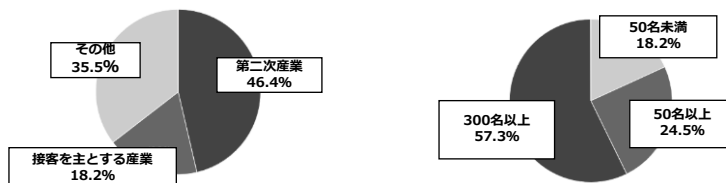
「コロナショックによる社会（経営環境）の変化」に関するアンケート

実施期間：2020年5月28日～6月8日 回答数：110件（回答率：46.2%）

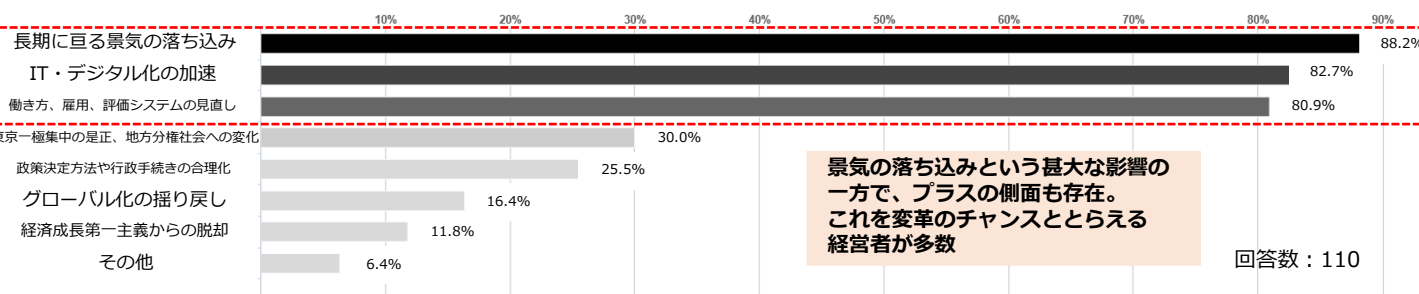
結果サマリー

- ◆ コロナショックは、「長期に亘る景気の落ち込み」といったマイナス影響がある一方で、「IT・デジタル化の加速」や「働き方、雇用、評価システム」など、従来の企業活動への改革を促すプラスの側面もある。
- ◆ この状況下でも、約3割の企業で、新規性の高いサービスや事業の開発が行われている。技術的理解（ITリテラシー）の向上が当該変化を後押ししている様子。
- ◆ 未曾有の危機に対する経営判断の拠り所としては「経営者同士のコミュニティ」や「社内の意見集約」といった、近い関係性によって得られる情報共有を重視している。

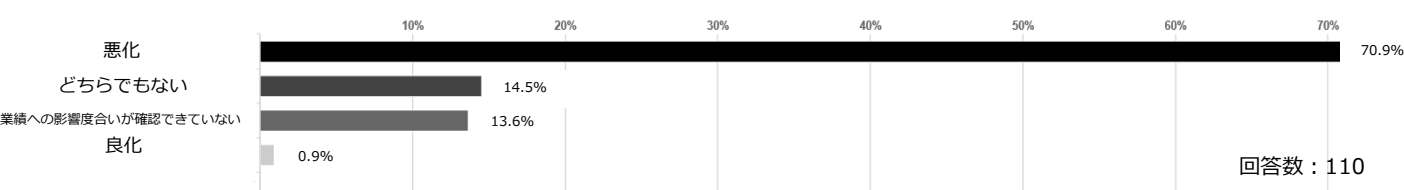
Q1・2 回答者属性（業種・従業員数）



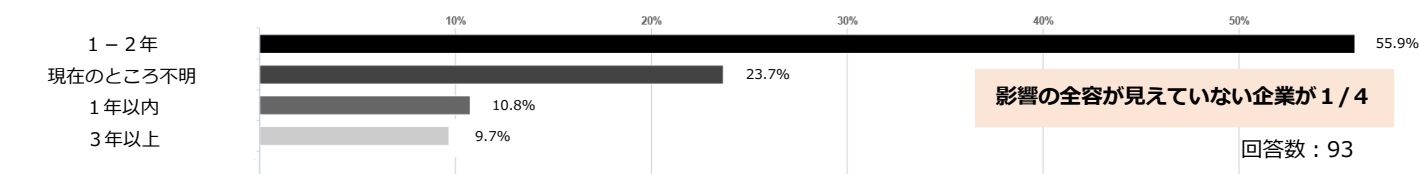
Q3. 【全般】 今回のコロナショックは社会全般にどのような影響を与えますか。（複数回答）



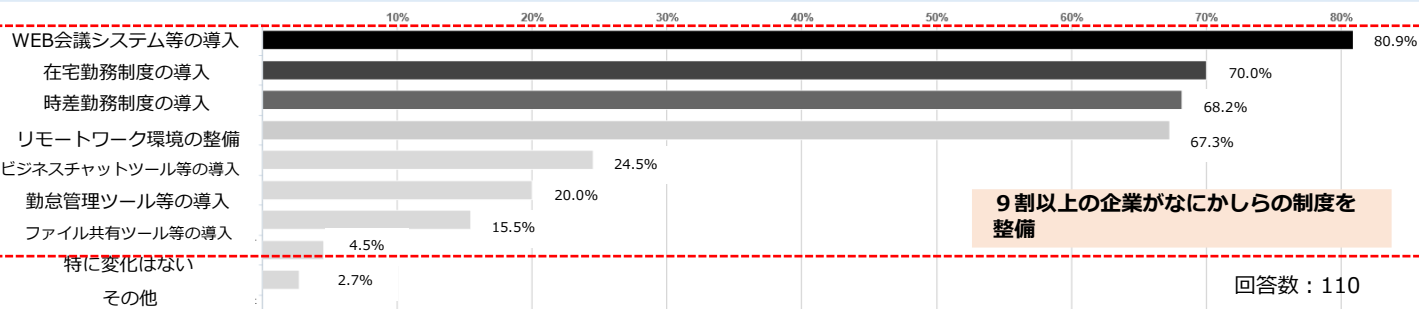
Q4. 【経済】 コロナショック発生による、足元の業績への影響はどの程度ですか。（単一回答）



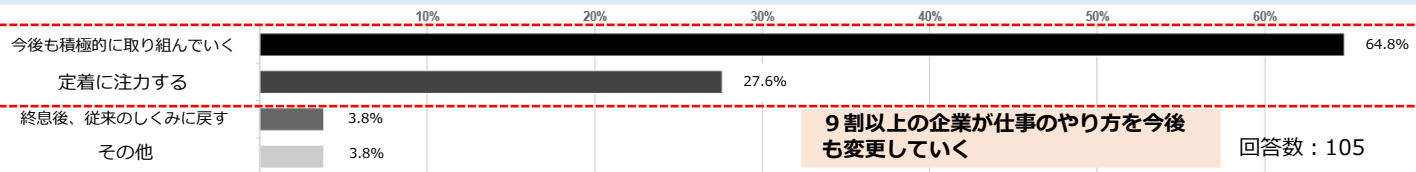
Q5. 【経済】 コロナショックの影響から自社が回復するために期間はどの程度ですか（単一回答）



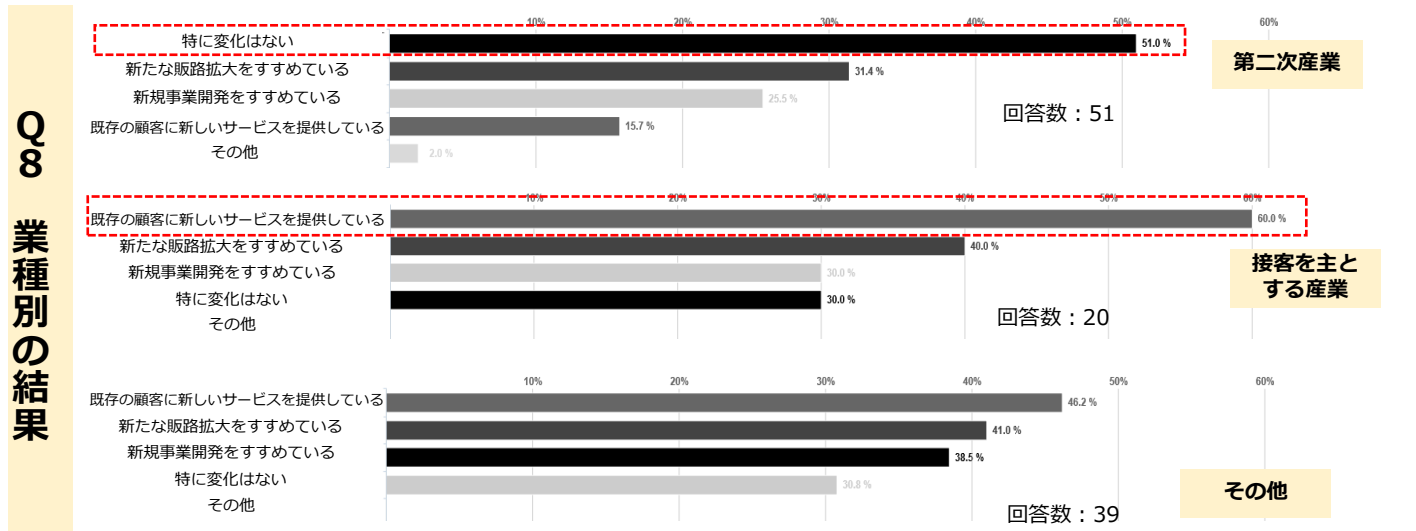
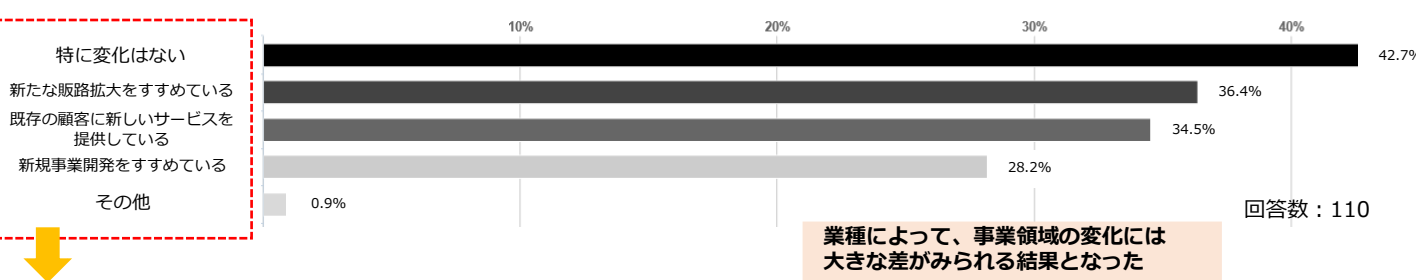
Q6. 【雇用】 働き方に変化はありますか（複数回答）



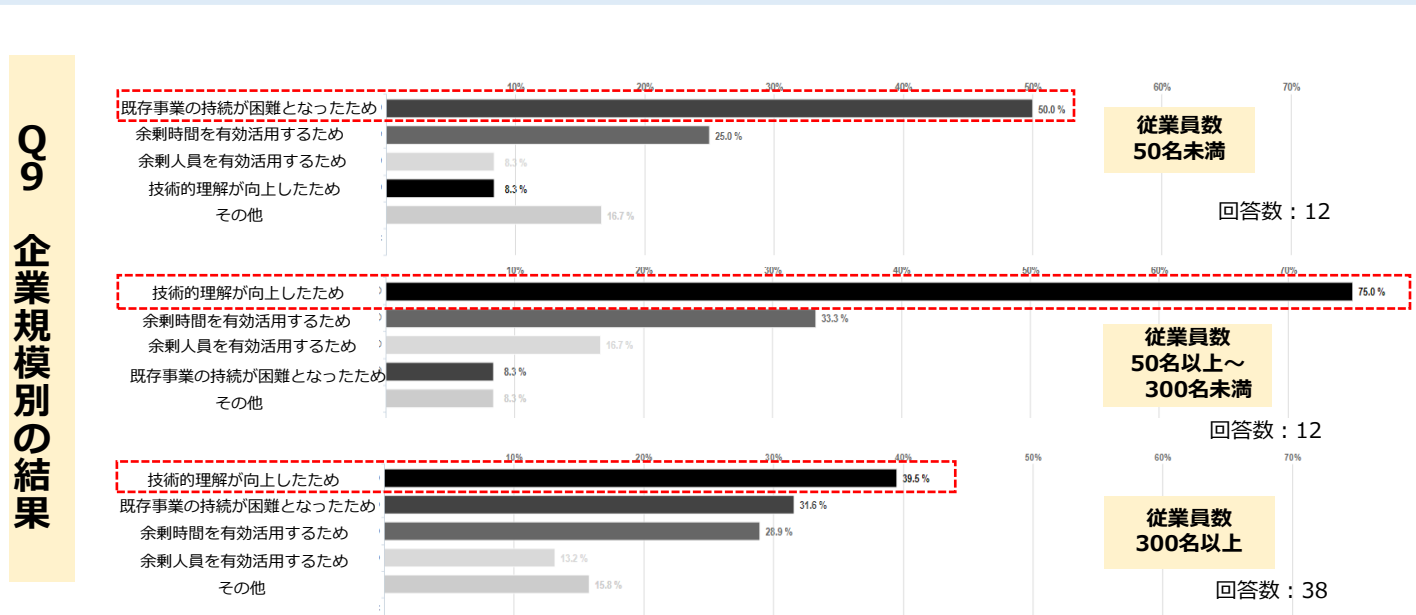
Q7. 【雇用】 今後、当該変化の定着・持続を図りますか (単一回答)



Q8. 【イノベーション・DX】 事業領域に変化はありますか (複数回答)



Q9. 【イノベーション・DX】 事業領域の変化要因は何ですか (複数回答)

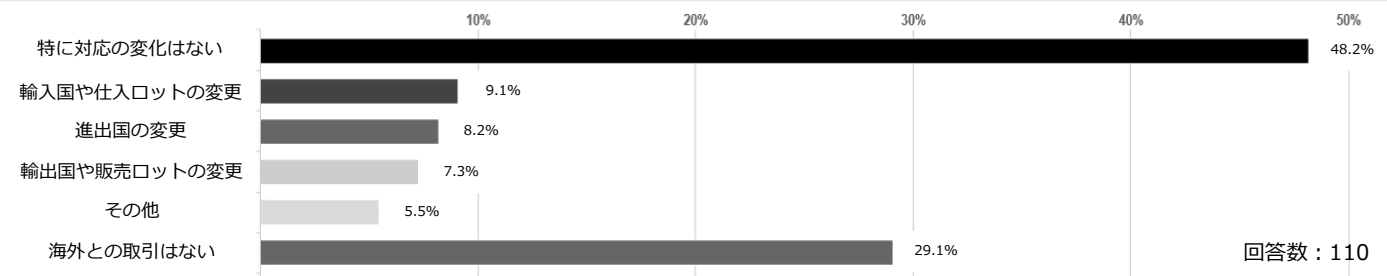


- ・中規模の企業では、「ITリテラシーの向上」が新規性の高い取り組みへの挑戦を促した。
- ・一方、小規模事業者では、既存事業への影響がより深刻であり、事業領域の変化を迫られている。

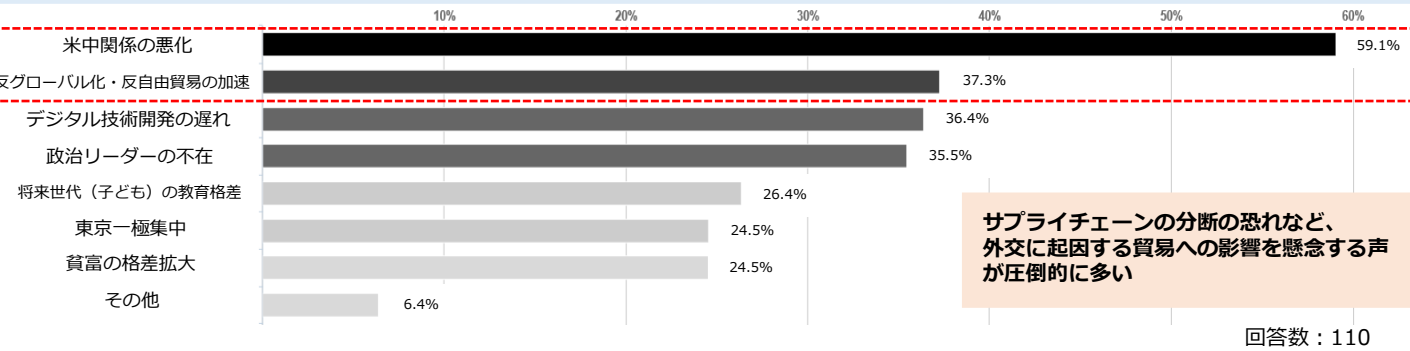
Q8 業種別の結果

Q9 企業規模別の結果

Q10. 【国際】海外取引への対応はどのような状況ですか（複数回答）



Q11. 【社会】コロナ後の日本社会を長期展望して、最も懸念する課題は何ですか（3つまで回答）



Q12. 【全体】外部環境の変化が大きい中、経営判断の拠り所として活用するものは何ですか（複数回答）

